

新名神大津 TOPICS ～第3回 新名神高速道路事業連絡調整会議の開催～

H25.4.10 滋賀県庁において「第3回新名神高速道路事業連絡調整会議」を開催致しました。この会議は、新名神高速道路 大津～城陽間（滋賀県域）における関係機関（国土交通省近畿地方整備局、滋賀県、大津市、NEXCO 西日本）間の情報共有・意見交換を行い、新名神事業を一日でも早く進めることを目的としています。

今回の会議において、滋賀県からは、新名神建設事業の専任組織である土木交通部道路課高速・幹線道路推進室、及び滋賀県土地開発公社に新名神用地部の設置の報告また新名神大津事務所からは H24 年度末までに全 12 自治会を対象に事業再着手説明会を完了し、上田上中野町において現地境界立会を開始し地図訂正作業に着手した等の報告が行われ、其々の議事について意見交換を行いました。

今後も、新名神建設事業を一日でも早く進めることができるよう、今後も関係機関との調整を進めて参ります。



新名神大津事務所 所長
迫田 輝幸

新名神大津だより創刊にあたって

新名神大津事務所は、新名神高速道路（大津～神戸 JCT）のうち滋賀県域の 12.2km の建設事業を担当しております。

新名神（大津～城陽間）につきましては、平成 18 年 2 月第 2 回国幹会議におきまして、「当面着工しない区間」と位置づけられ、一旦事業が凍結されていましたが、災害時等における代替路線の確保や中部圏と阪神圏との連携強化・多重化による信頼性向上などの観点から、平成 24 年 4 月 20 日に事業の再着工が許可され、関係機関や地元の方々の皆さまのご協力をいただきながら、道路用地の取得に向けた道路構造等の説明や道路用地の調査・測量及び取得交渉などを進め、一日でも早い開通を目指して事業を推進していく所存でございます。

ここに創刊を迎えた事業広報誌「新名神大津だより」により、事業の進捗情報などを発信することで、地域の皆さま関係機関の方々とのコミュニケーションが向上し、新名神事業推進の一助となれば幸いです。

新名神に求められる役割

★ 大都市間の連携強化

近畿圏をはじめとする西日本と中京圏さらに首都圏の主要都市とのネットワーク充実・強化が図れ、国土軸として高いサービスレベルを確保出来ます。

★ 災害時にも機能するネットワークを確保

大都市間を結ぶネットワークは、災害や事故など、いざという時にも機能するよう、多重化が必要。新名神は名神と一体となり、ネットワークの多重化を図る。

★ 老朽化に対する対応

日本初の高速道路 名神は、開通後約 50 年が経過。老朽化が進行し、大規模な補修が必要な状況。新名神が全線開通すれば、長期間の通行止めや車線規制を実施し、大規模補修を実施することが可能に。



交通情報ははこちら



<http://ihighway.jp/>



料金検索はこちら



<http://www.w-nexco.co.jp/mobile/>

みんなでいっしょに
交通事故ゼロを
目指すプロジェクト



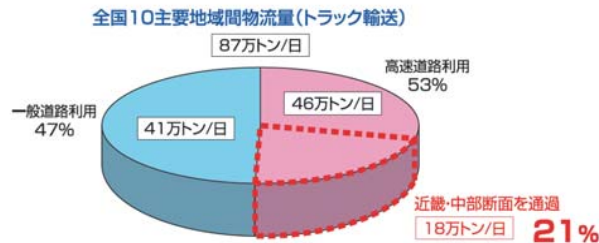
【DRIVE&LOVE 公式WEBサイト】 <http://drive-love.jp/>

ホームページはこちら



大都市間の連携強化 ～近畿・中部断面は日本でも有数の物流量～

- 全国の国内物流（トラック輸送）は、1日約87万トンであり、その約半分（約46万トン／日）が高速道路を利用。そのうち、約18万トン／日が近畿・中部断面を通過しています。



西日本高速道路株式会社
関西支社

新名神大津事務所

〒520-0047 滋賀県大津市浜大津1-1-3
朝日生命大津ビル3階
TEL.077-526-8891(代) / FAX.077-525-4529
●京阪浜大津駅から徒歩3分
●JR大津駅から徒歩10分
●名神大津ICから車で約10分
※お客様用駐車場がございませんので、公共交通機関のご利用をお願いします。

